

新徳京ロープウェイ

安全報告書 2016



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

当社は、安全、安心の徹底を経営理念のトップに掲げ、全社一丸となって安全輸送に務めております。

また本年は、「自然環境との調和をはかり、安全と笑顔のおもてなしでお客様に感動を伝えます。」を合言葉に、お客様に安心してご利用いただき、喜んでいただけるロープウェイであるべく努力を更に続けてまいります。

今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成27年度の安全輸送に対する取組を広く皆様にご理解いただくために公表するものでございます。

皆様からの声を更なる安全に役立てたく、忌憚のないご意見ご感想を賜れば幸いに存じます。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 横 幕 信 樹

2. 安全に関する基本的な方針

(1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

【安全方針】

法令順守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成27年度の安全重点施策は、以下の3項目でした。

平成27年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 設備保守点検を強化し、運行に係る安全を、確保する。
- 3 異常気象時、悪天候時に適切な対応がとれる体制を構築し、事故発生をゼロにする。

(3) 安全重点施策の実施結果

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
OJTの中に法令及び規定類の啓蒙を取り入れ、係員の習熟度を高めてきました。6月・12月には細則、内規を含めた規則類の再教育を行ないました。毎月リーダーを決めて、相互チェックを行っており、各係員が順守していることを確認しています。今後も厳正忠実に職務を遂行していきます。
- 2 設備保守点検を強化し、運行に係る安全を確保する。
前年度発生した事故を教訓として、運行に関わる係員一丸で早期発見と即対応に努めてきました。ヒヤリハット報告をPDCAサイクルに落とし込んで点検の中心にしました。今後とも、更なる保守点検の強化に努めます。
- 3 異常気象時、悪天候時に適切な対応がとれる体制を構築し、事故発生をゼロにする。
風速計器類の増設、監視カメラ・無線等の設備の充実を図り、早期に適切な対応がとれる体制としました。また、係員同士のコミュニケーションの円滑化を図りながら、連携の強化を進めました。今後とも、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(4) 平成 28 年度安全重点施策の策定

平成 27 年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制の向上を目指し、平成 28 年度安全重点施策を策定いたしました。

ヒヤリハットの活用を中心とした PDCA のスパイラルアップを図り、ソフト・ハード両面からの継続的改善、見直しに取り組んでまいります。

又、係員の自発的な行動につなげられる、主体的な教育・訓練の充実を図ります。

平成 28 年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 ヒューマンエラー・施設故障の削減を図ることにより、事故の撲滅を目指す。
- 3 異常気象時、悪天候時に適切な対応がとれる体制の底上げを図る。

3. 当社の安全管理体制

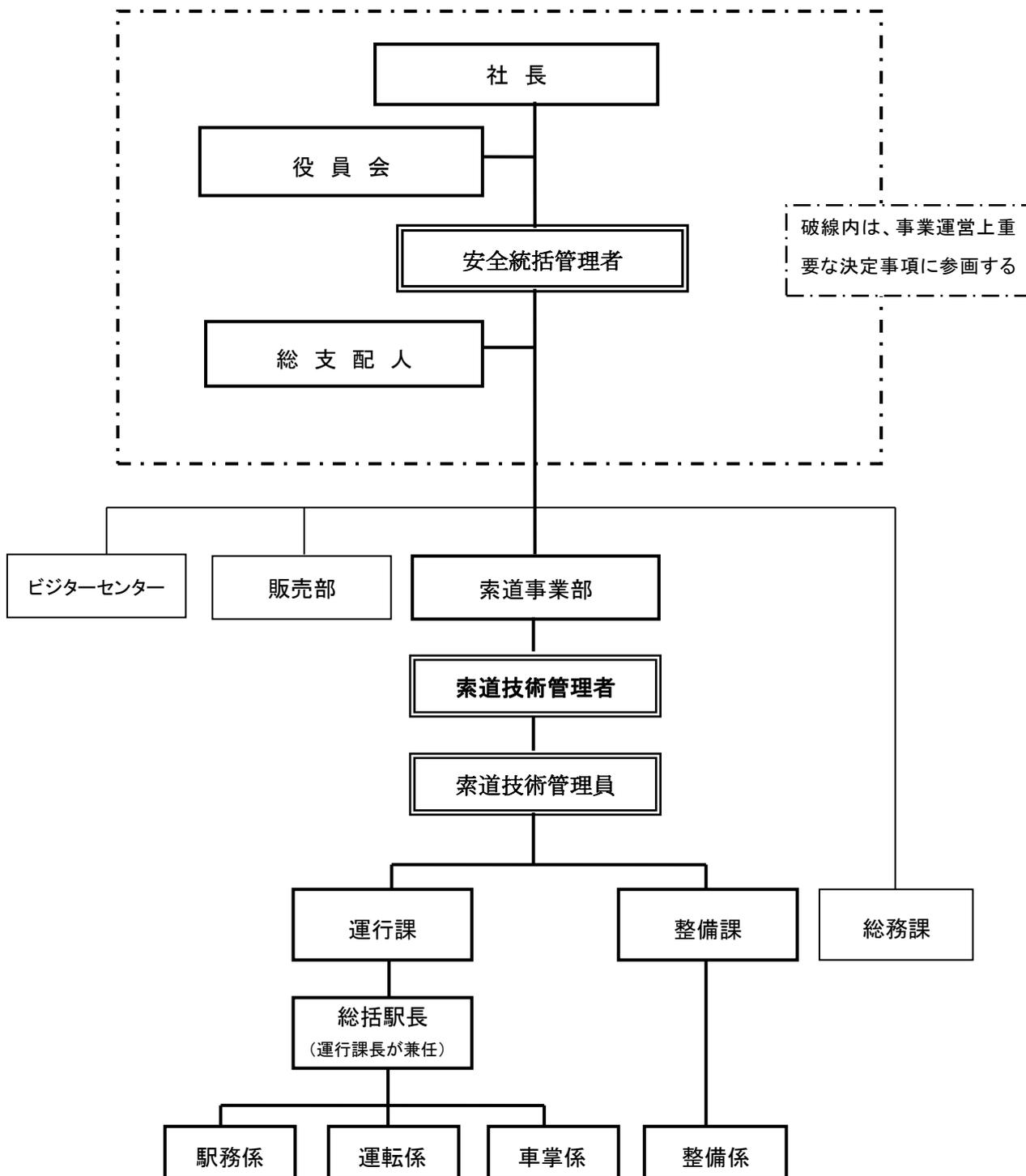
(1) 安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策を検討、実施しております。

新穂高ロープウェイ

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告を集約し、安全のための対策を策定しております。平成27年度は417件の報告がありました。これら得られた情報を、PDCAサイクルに繋げていくことにより、さらなる安全活動の活性化に取り組んでおります。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

【報告】 西穂高口駅ホームにて、通路部に冬期敷設しているマットの着雪及び凍結が原因で、お客様が滑り転倒の危険がある。

【実施】 既存の芝マットから、滑り難い、除雪し易い（凍結しない）ゴムマットに変更しました。



4. 平成27年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故

平成27年度、当該事故の発生はありませんでした。

(2) インシデント（事故の兆候）

平成27年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

5. 安全確保のための取組み

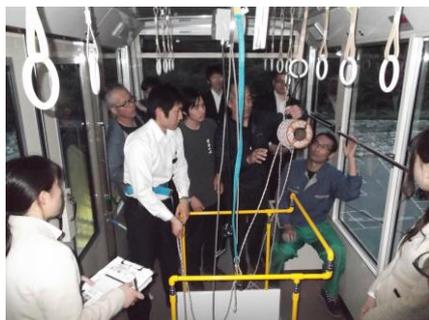
(1) 人材教育・育成

毎月別にリーダーを定め、基本動作の相互チェックを継続しておこなっています。
今年度は規定類及び各内規の習熟度を高める為、集中的な講習を2回おこないました。



(2) 緊急時対応訓練

ロープウェイが運行途中で動けなくなった事態を想定し、救助訓練を2回おこないました。
合わせて、非常時通報訓練を実施しました。
また、12月には高山消防署の協力を得て、AEDの使用など、人命救助に関する訓練を実施しました。



(3) 安全のための投資と支出

平成27年度は、第1区線の曳、平衡索交換工事など索道の機械・電気設備の保守に関する整備工事、及びIP通話網の構築、監視システムの強化等他に約48百万円を投資しました。今後も安全・保安対策を計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

6. ご連絡先

【本社】

〒506-0053

岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517

FAX : 0577-34-7101

ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【事業所】

〒506-1421

岐阜県高山市奥飛驒温泉郷

神坂字巾平710番地79

新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252

FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

平成28年(2016年)9月発行